

たばたあずみ



Tel・Fax
550-6674

山根とみえ



Tel・Fax
550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax
558-9721

9月市議会

市議会議場に国旗掲揚を求める陳情 自民系・公明党会派の賛成で採択される！

9月市議会に、市民より ①原発問題に関する陳情 ②10・23通達の厳守を求める事に関する陳情 ③10・23通達の強化を求める意見書の提出に関する陳情 ④公立学校の教職員の政治活動の制限の強化を求める意見書の提出に関する陳情 ⑤市議会議場での国旗掲揚に関する陳情の5つの陳情が提出されました。以下、その要旨を報告します。

市議会議場での国旗掲揚に関する陳情

あきる野市在住の市民（個人）から、市議会議場に国旗掲揚を求める陳情が提出されました。議会運営委員会で審議が行われた後に、最終日の本会議で採決が行われ、賛成多数で採択されました。日本共産党市議団3名と民主党2名は反対しました。日本共産党市議団を代表して山根とみえ議員が反対討論を行いました。

反対討論

日の丸は平成11年8月13日に日本の国旗として法制化されました。しかし、日の丸・君が代に限らず、国旗・国歌を法制化したとしても、国民に強制をしないということが大前提になると思います。国民の中には、国旗・国歌に対して違和感を持ったり、賛成できない人もいます。そういう人にまで強制するということは憲法19条で保障された個人の思想・良心の自由の原則に反するものです。国民の中には日の丸によって戦争を思い起こす世代がたくさんいます。日本人約300万人、アジア人約2000万人とも言われる多くの命を奪った戦争の旗印として日の丸が常にあったからです。

最近のテレビでも「700人の証言」など、15年戦争の体験をもつ本人たちが、実際の侵略戦争の無残な姿と、死に直面した体験を語る番組が多く放送されました。また、苦い戦争の体験から、2度と戦争を起こしてはならないと自らの体験を冊子に残したり、戦争体験を語るつどいなどが全国各地で開催され、後世に残す運

動が広がっています。外国人の中にも、侵略戦争の旗印であった日の丸に対する複雑な感情があります。こういう事実を考慮しても、日の丸の掲揚を強制すべきではありません。日本と同盟国として侵略戦争を行ったドイツ、イタリアは、戦後、国旗の模様を変えました。侵略戦争は間違っていたという反省の証です。日本は約2000万人の命を奪った東アジアへの侵略戦争に対する反省を国として行っていません。その象徴が国旗だと考える識者の見解がたくさんあります。

議場は市民の願いや要求を反映させるため、さまざまな意見や考えが異なる議員が議論を行う「言論の府」としての場です。また審議する議案の中には、日本に滞在する外国人の内容に関するものもあります。議会を傍聴に来る人たちも、さまざまな考えを持つ人たちがいます。国旗を掲揚することで不快感を持つ人もいると思います。こうしたことから考えても、あえて議場に国旗を掲揚する必要はないと考えます。

以上、意見を申し上げ反対討論とします。

原発問題に関する陳情

青梅市在住の市民（個人）から（1）脱原発都市宣言（2）脱原発に関する取り組みを求める趣旨の陳情が提出されました。総務委員会で審議した後に、最終日の本会議で採決を行い、日本共産党市議団3名と民主党2名が賛成、自民系・公明党会派の議員は反対し、賛成少数で不採択となりました。

10・23通達の厳守を求める陳情

東京都教育委員会は、平成15年10月23日付けで、入学式・卒業式等における国旗掲揚及び国歌斉唱に関する通達を都立の各高等学校宛てに出しました。本陳情はこの通達の厳守を求める内容のものです。福祉文教委員会で審議が行われた結果、教育と政治は分離されるべきであり、議会で可否を決める内容ではない等の意見が出され、保留扱いとなりました。

法律相談

11月22日（木）13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。